

単元名 にたいみのことば, はんたいのいみのことば

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。
 (3) 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く, 似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作ろうとする。

標準的な展開例

02010302_001

【教材名】にたいみのことば, はんたいのいみのことば

(下 P. 80～P. 81)

【準備等】挿絵を拡大したもの

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 似た意味の言葉と反対の意味の言葉を集める。 ★似た意味の言葉と反対の意味の言葉を見付けよう。 ○教科書(P. 80)の上段の挿絵を見て, 文の()に入る言葉を考える。 ・「男の子が友達に()。」 ・話す, 言う, しゃべる 等</p> <p>○教科書(P. 80)下段の「しぼる」, 「うつくしい」の似た意味の言葉を集める。</p> <p>○教科書(P. 81)の上段の挿絵を見て, ()に入る言葉を考える。 ・「このケーキは()。」 ・大きい, 小さい</p> <p>○「ぬぐ」の反対の言葉を考える。</p> <p>○「上」, 「少ない」, 「立つ」の反対の言葉を考える。</p> <p>2 似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作り, 発表する。 ○似た意味の言葉や反対の意味の言葉を探す。</p> <p>○似た意味の言葉クイズや反対の言葉クイズをする。</p>	<p>・挿絵を拡大して提示する。 ・()に入る言葉を考えて, 文を完成させるようにし, 複数の言葉を思い付いた児童は, ノートにいくつ書いてもよいこととする。 ・「声に出して伝える」ことを表すための似た意味の言葉であることを理解させる。 ・自分の知っている言葉や, 教科書の中などから見付けさせる。 ・見付けた言葉を発表させ, 多くの言葉に触れさせる。 ・挿絵を拡大して提示する。 ・ノートに視写させ, ()の中の言葉を赤で書かせるなど, 反対の言葉に目が行くようにする。 ・反対の意味を表す言葉であることを理解させる。 ・同じ「ぬぐ」でも, 「かぶる」や「着る」「はく」など, 脱ぐ物によって, 反対の意味の言葉が変わることがあることも理解させる。 ・実際に動作化させたり, 状況を考えさせたりして反対の意味の言葉を考えさせる。 【評】似た意味の言葉や反対の意味の言葉を考える活動を通して, 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書(P. 161～162)「ことばのたからばこ」などを参考にして, 言葉を探させる。 ・どうしても思い付かない児童には, いくつかの言葉を用意しておき, その中から選んで考えさせる。 ・自分が探した言葉を発表して, その言葉の似た意味の言葉や反対の意味の言葉を考えさせる。 ・クイズをし, 楽しみながら発表できるようにする。 【評】言葉探しと言葉ゲームの活動を通して, 似た意味の言葉や反対の意味の言葉を考えようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】